

## 大学院政治学研究科博士後期課程進学希望者へ (2006年8月15日修正)

2008年度入学者入試より大学院政治学研究科博士後期課程への進学者選考方式が次の通り変更となります。また、出願書類として TOEFL のスコアカードの提出が必須となりますので、出願時まで TOEFL を受験済みであることが必要となります。

### 2008年度大学院政治学研究科博士後期課程入試

2006年4月本研究科修士課程入学者で本研究科実施の分析手法認定試験合格者とそれ以外の者で選考方法が異なります。

#### 【2006年4月本研究科修士課程入学者で分析手法認定試験合格者】

出願資格: 2008年3月に本研究科の修士学位取得見込みの方で、分析手法認定試験合格者であること。

選考方法:

<一次試験(書類審査)>	<二次試験(口頭試問)>
分析手法認定試験・TOEFL 成績・修士課程在学中の成績(修士論文を含む)に基づき総合的に判定します。	修士課程での研究指導教員と博士課程での指導教員を変更する方のみ二次試験(口頭試問)を行います。

#### 【2006年4月本研究科修士課程入学者で分析手法認定試験合格者以外の者】

出願資格: 修士の学位を得た方および2008年3月修士の学位取得見込みの方。

外国において修士の学位またはこれに相当する学位を修得した方。

大学卒業後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した方で、当該研究成果等により、本研究科において修士学位を修得した方と同等以上の学力があると認められた方。

旧教育制度修了者、各種大学校卒業者で、文部科学大臣が大学院を修了した者と同等以上の学力があると認められた方。

選考方法: 事前に出願資格の確認および書類審査を行います。

<一次試験(書類審査)>	<二次試験(口頭試問)>
TOEFL 成績・修士課程在学中の成績(修士論文を含む)に基づき総合的に判定します。	一次試験合格者を対象に二次試験を行いません。

2006年 7月28日

2006年 8月15日下線部修正  
大学院政治学研究科